



## 盛美館

完成年：1909年（明治42年）

建築家：西谷市助

形 式：和洋折衷

見 所：一階が和風造り、二階が洋風造り。

判然と異なった様式が上下に重なる

建物は珍しい。

## 御宝殿

完成年：1917年（大正6年）

じゅうそういりもやづくりとうはふう びょうけんちく

形 式：重層入母屋造り唐破風の廟建築

内 陣：北条時頼の側室唐糸御前

こんごうかいたいにちによらい

本 尊：金剛界大日如来

見 所：三部五枚からなる蒔絵。さくらに

孔雀の蒔絵は日本最大のもので、

漆芸の最高峰のものといわれている。



## 庭 園

完成年：1911年（明治44年）

作庭者：小幡亭樹

形 式：池泉枯山水廻遊式

見 所：池を中心に配置された「真」「行」の

しづ ぎょう  
そう 築山と「草」の平庭。中央は開いて

田園と遠くの山々を借景している。

## アクセス

■弘南鉄道尾上駅より

徒歩10分、車で2分

■JR弘南駅 弘南バス

盛美園前下車

■青森空港より車で40分

■十和田西線

十和田湖畔休屋より

車で約90分

■弘前市より車で15分

■田舎館村

田んぼアート会場より車で10分

■東北自動車道 黒石I.C.より10分



Webサイトへ



## 国指定名勝 盛美園

〒036-0242 青森県平川市猿賀石林1 TEL/FAX. 0172-57-2020

【ホームページ】<http://www.seibien.jp/> 【メール】seibien@infoaoomori.ne.jp

国指定 名勝

# 盛美園



## 盛美園 見取り図



### ① 礼拝石・飛び石

(らいはいせき・とびいし)  
礼拝石は神に供物を捧げる役石で、節理の見事な玄武岩を用いている。  
飛び石は沓脱石からY字形に打たれ、手水前と礼拝石に至る。

### ② 枯 池

(かれいけ)  
白砂は池を現し、左岸は昇龍、右岸は降龍を設け中央には7個の石をもって七福神を形づくっている。白砂の枯池は、盛美園全体の清浄さと莊厳さを現している。

### ③ 登拝山

(とひいやま)  
作庭当初、近くの猿賀神社、遠くに岩木山を拝する目的でつくられたが、現在は環境の変化で全く見えない。戦時中は、防空壕として使用していた。

### ④ 池 泉

(ちせん)  
樹木の下になって、一部の池岩石は隠れているが、護岸の石組が見事である。

### ⑤ 蓬萊島

(ほうらいじま)  
亀を象った島に、鶴を象徴する赤松を配している。不老長寿を意味し、庭園の象徴的な存在である。

### ⑥ 方丈島

(ほうじょうじま)  
石橋の節理が見事である。

### ⑦ えい州島

(えいしゅうじま)  
ことばしら  
夜間、琴柱の燈籠の明かりが水面に映る情景がしのばれる。

### ⑧ 守護石

(しゆごせき)  
真の築山の中心に山形の巨石を据え、庭園の「守護石」としている。

### ⑨ 枯 滝

(かれたき)  
桃山時代風の石組みで、巨石をやや前傾姿勢に据え、迫力と豪華さを強している。

### ⑩ 四 阿

(あづまや)  
ここから、庭園の東半、更に庭園の北部に広がる津軽平野を見渡すことができる。

### ⑪ 瀧石組み

(たきいしぐみ)  
神社から西に向かつて流れる滝がある。滝水は急傾斜を流れて布引、伝い落ちでは修羅と変化に富み沢渡りを縫つて池に注ぐ。

### ⑫ 盛美神社

(せいびじんじゃ)  
うかのみたまのかみ  
ゆうげんかんじやく  
主神は倉稻魂神(稻荷様)。周囲の林相と相まって幽玄閑寂の境地をつくっている。



面 積：約12,000m<sup>2</sup>  
形 式：池泉枯山水廻遊式  
指定年月日：1953年（昭和28年）3月31日  
2002年（平成14年）12月19日（追加指定）  
所 以：盛美園は、清藤家24代盛美が、小幡亭樹を招き  
明治35年より9ヶ年を費やしてつくった。